

## 2007 年度・2008 年度入学生

### 環境都市工学部

### 都市システム工学科 「HAND BOOK」 記載内容の変更について (訂正)

#### 記

#### 変更箇所

都市システム工学科の早期卒業制度

#### 【変更内容】

※2007 年度入学生用の「HAND BOOK」については、「都市システム工学科の早期卒業制度」は記載されておられません。Web 履修ガイドの掲載内容についての変更の案内となります。

#### (変更後)

都市システム工学科の早期卒業制度

#### 15 都市システム工学科の早期卒業制度について

学部教育と大学院教育の連携を強化するため、都市システム工学科に在学するきわめて優秀な学生が、7 学期間(3.5 年)で早期に卒業し、本学大学院理工学研究科ソーシャルデザイン専攻都市システム工学分野へと進学することを目的とした制度です。概要については、次の通りです。

なお、詳細についてはインフォメーションシステム等によりお知らせします。

#### (1) 募集時期

3 年次春学期中にガイダンス・募集を行います。

#### (2) 早期卒業制度適用条件

早期卒業制度の適用を受ける者は、以下の条件をすべて満たしていなければなりません。

ア 都市システム工学科に入学後、連続して 5 学期在学している者

イ 本学大学院理工学研究科ソーシャルデザイン専攻都市システム工学分野への進学を強く希望する者

ウ 3 年次春学期(5 学期)末時点において、卒業所要単位に含まれる科目の成績が高い者  
(成績判定基準は、別に定めます。)

エ 早期卒業希望者を対象に行う口頭試問において優秀な成績の者

#### (3) 早期卒業が認められる条件

以下の条件をすべて満たしていなければなりません。

ア 4 年次春学期末時点において、連続して 7 学期在学し、卒業所要単位を全て修得した者

イ 4 年次春学期(7 学期)末時点において、卒業所要単位に含まれる科目の成績が高い者  
(成績判定基準は、別に定めます。)

ウ 「特別研究Ⅰ」「特別研究Ⅱ」を修得した者

エ 本学大学院理工学研究科ソーシャルデザイン専攻の開講する授業科目を 10 単位履修している者

#### (4) その他の事項

- ア 早期卒業制度の適用を認められた者に、休学・退学等の学籍異動があった場合は、早期卒業制度適用の許可を取り消します。
- イ 早期卒業制度適用の辞退もしくは取消があった場合は、4年次春学期（7学期）末時点で卒業所要単位を全て修得している場合においても、4年次秋学期以降に1科目以上の履修をしたうえで、通算8学期以上在学しなければなりません。

以 上